

**Agilent EEs of EDA****GENESYS 2007.08****アップデート / インストール手順書**

2007年10月16日 作成

アジレント・テクノロジー株式会社

電子計測本部 ソリューション・ビジネス営業統括部

EDA テクニカルサポートグループ 発行

**Agilent EEsof EDA**

**GENESYS 2007.08**

**アップデート / インストール手順書**

Rev.1.0 (2007/10/16)  
Rev.1.1 (2007/10/26)

2007年 10月 16日 作成  
アジレント・テクノロジー株式会社  
電子計測本部 ソリューション・ビジネス営業統括部  
EDA テクニカルサポートグループ 発行

# 目次

1. プログラムのインストール.....	1
1-1. 必要なハードウェア・ソフトウェア.....	1
1-2. インストール CD からのインストール.....	2
1-3. インストール実行ファイルを利用.....	5
1-4. ライセンスサーバのインストール（管理者権限が必要）.....	7
1-4-1. GENESYS ハードウェアキーのネットワークライセンス.....	8
1-4-2. ADS-Style ネットワークライセンス.....	12
2. ライセンス認証（Authorization）.....	16
2-1. ライセンス認証の概要.....	16
2-2. 評価用ライセンス.....	18
2-3. GENESYS ハードウェアキーライセンス.....	23
2-3-1. ノードロックライセンスの場合.....	23
2-3-2. ネットワークライセンスの場合.....	27
2-4. ADS-style ライセンス認証.....	28

# 1. プログラムのインストール

## 1-1. 必要なハードウェア・ソフトウェア

プログラムをインストールする前に、使用するコンピュータが下記の条件を満たしているか確認して下さい。

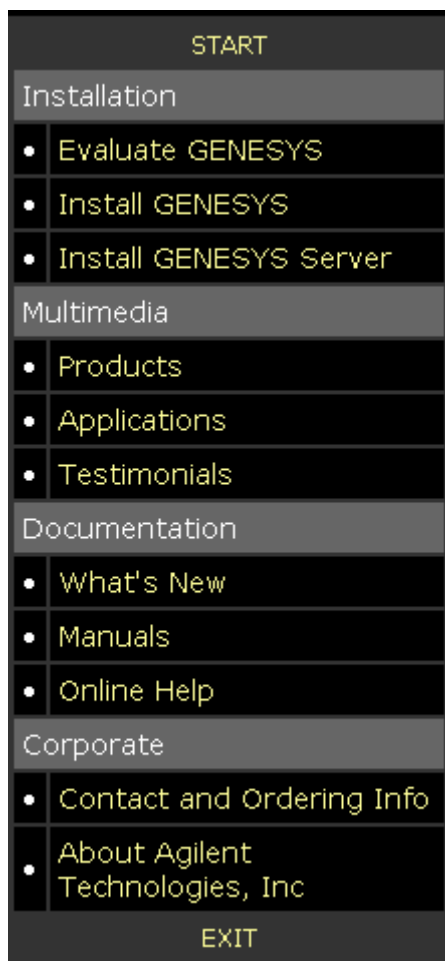
- ハードディスクの空き容量： 500MB
- メモリ容量： 512MB（最低） 1GB（推奨）
- Windows OS： Vista、XP64、XP、2000、2003  
（OS は最新の状態にアップデートして下さい。）
  - 64bit プラットフォーム上でも、32bit 互換モードで動作します
  - PLL および TLINE は、XP64 および Vista での動作をサポートしていません。
- ライセンスファイル（または Authorization コード、評価用 Token ）もしくはインターネット接続
- ハードウェアキー（GENESYS ハードウェアキーを使用する場合）

※ハードウェアキーのドライバのインストールは、管理者権限で行って下さい。

## 1-2. インストール CD からのインストール

1. インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

インストールプログラムが自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、CD のルートフォルダから **start.exe** をクリックし実行します。



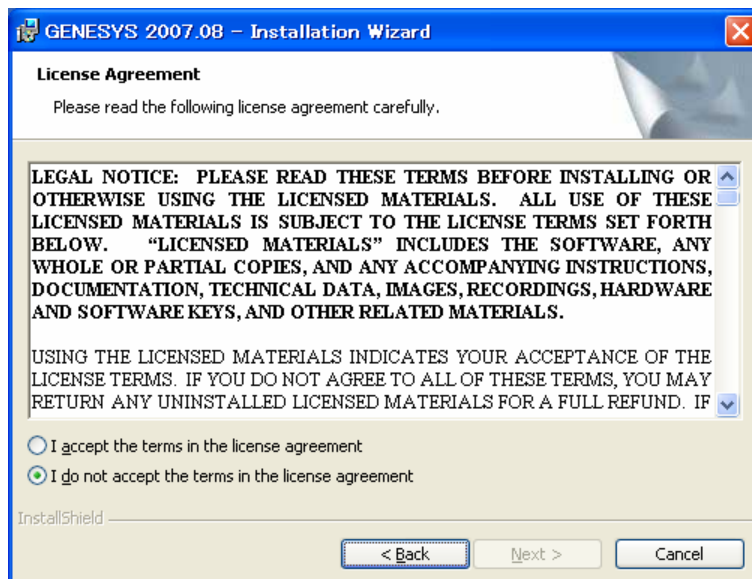
2. 評価用の場合は、メニューから **Evaluate GENESYS** を選択します。

評価用ライセンスを申し込み済みの場合は、**I have a ticket** ボタンを、まだの場合は、**I need a ticket** をクリックします。

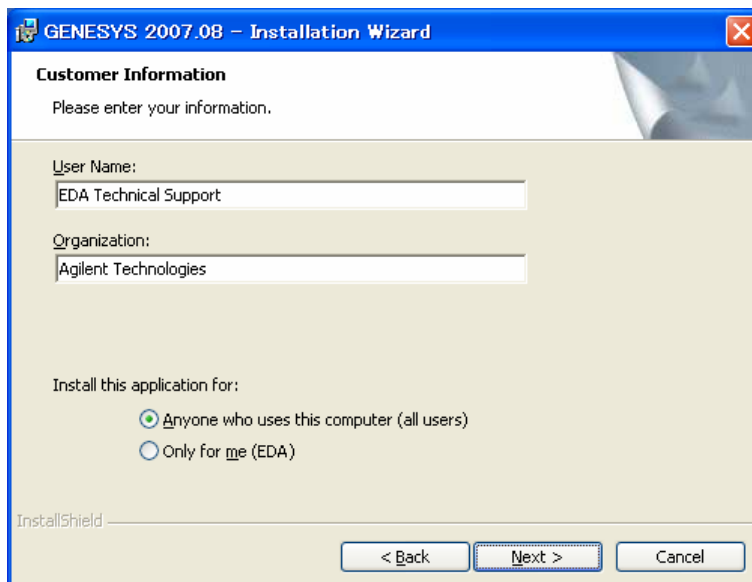
評価用以外の場合は、メニューから **Install GENESYS** を選択します。

3. **Install GENESYS Now** ボタンをクリックします。インストーラが起動しますので、**Next** をクリックします。

4. ライセンス規約に目を通して、同意できる場合は **I accept the terms in the license agreement** を選択し **Next** をクリックします。

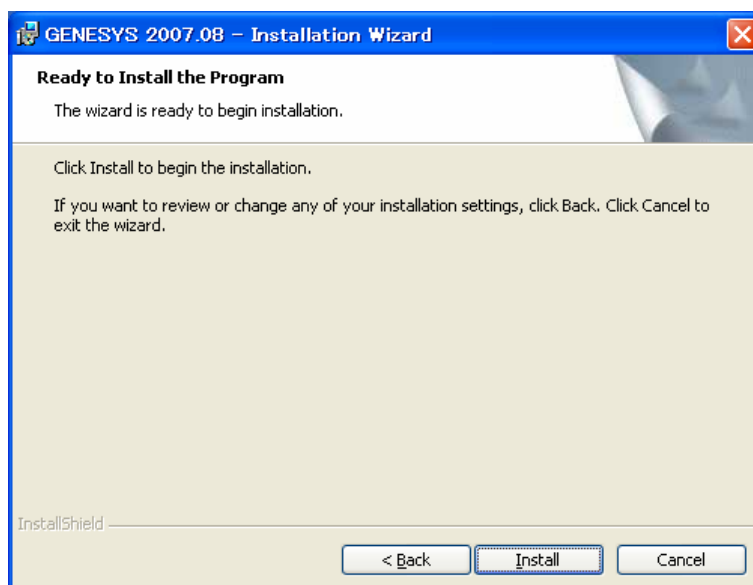


5. ユーザ名、組織名を入力して **Next** をクリックします。

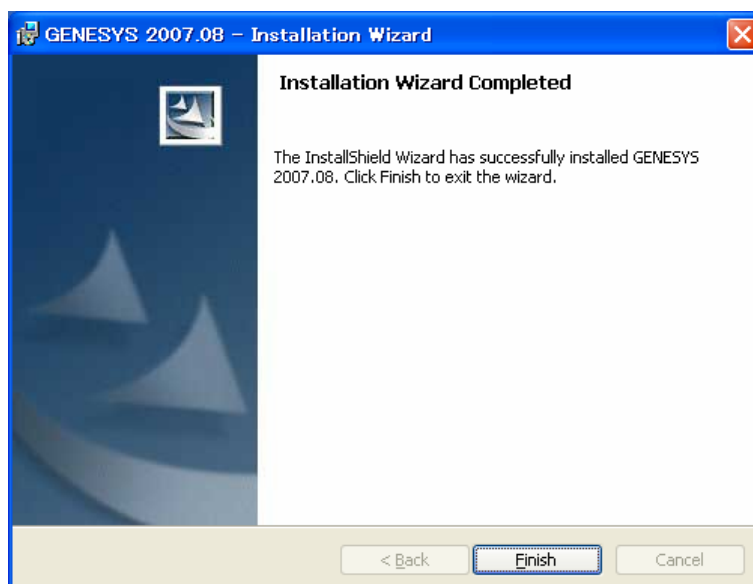


**Anyone who uses this computer** を選択すると全てのユーザが、**Only for me** を選択するとインストールを実行したユーザのみが **GENESYS** を実行できます。

6. 画面の表示に従ってインストールを進めて下さい。Install ボタンをクリックすればインストールが開始されます。



7. インストールが完了すれば Finish ボタンをクリックします。



GENESYS のインストールが完了すれば、次はライセンスのセットアップに移ります。

本手順書 2.ライセンス認証 (Authorization) のライセンス形態に応じて該当ページをご参照ください。

### 1-3. インストール実行ファイルを利用

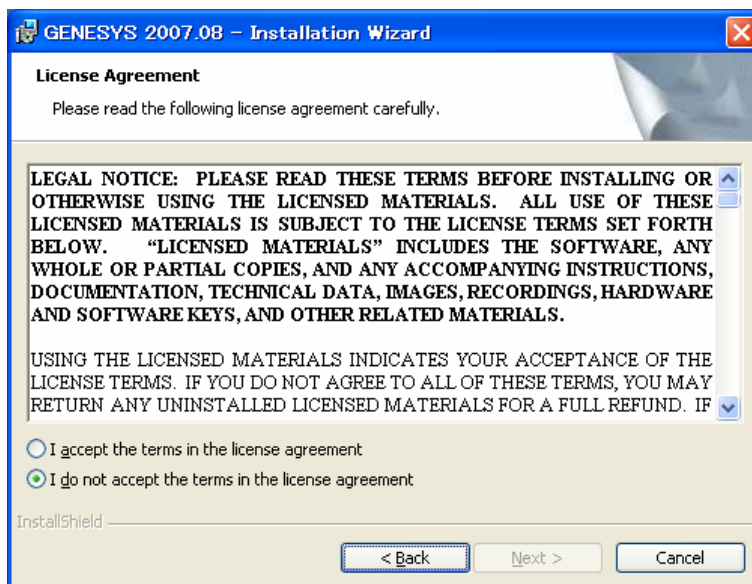
1. インストールファイルを準備し、インストーラを起動します。
  - GENESYS Network の Network Image を利用する場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
  - ナレッジセンタにご登録いただいている方は、ダウンロードセクションから GENESYS インストーラをダウンロードできます。下記 URL ナレッジセンタトップページのダウンロードセクションの Eagleware からご希望のプログラムをダウンロードして下さい。

Agilent EEsof ナレッジセンタ トップページ：

<http://www.agilent.com/find/eesof-kcj>

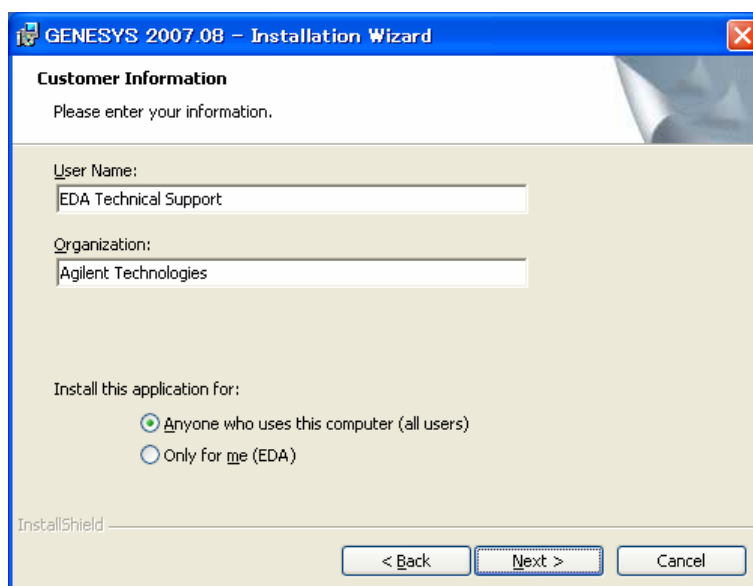
有効な保守契約もしくは評価用ライセンスをお持ちの方であればどなたでもナレッジセンタをご利用いただけます。まずは、ナレッジセンタトップページの“登録”リンクからユーザ情報を登録してご利用下さい。

2. Install ボタンをクリックします。
3. ライセンス規約に目を通して、同意できる場合は **accept license agreement** を選択し Next をクリックします。



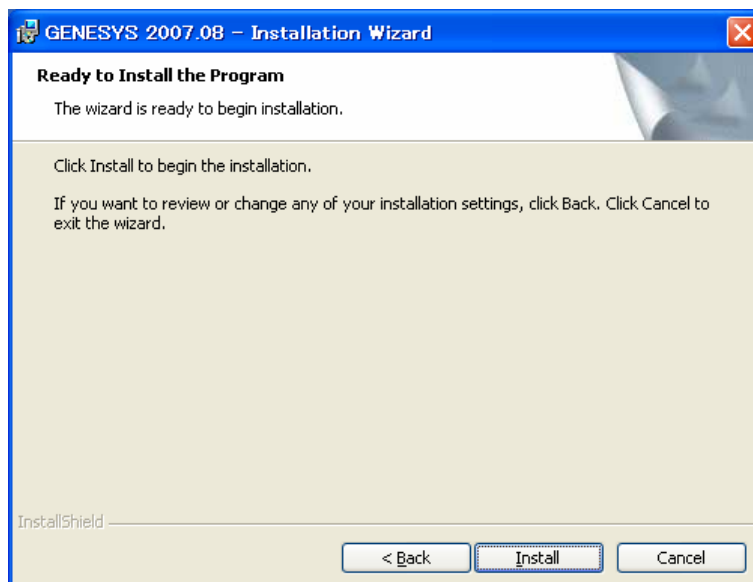


4. ユーザ名、会社名を入力し **Next** をクリックします。



**Anyone who uses this computer** を選択すると全てのユーザが、**Only for me** を選択するとインストールを実行したユーザのみが **GENESYS** を実行できます。

5. **Next** をクリックし、画面の表示に従ってインストールを進めます。 **Install** ボタンをクリックするとインストールが開始されます。



**GENESYS** のインストールが完了すれば、次はライセンスのセットアップに移ります。ご利用のライセンス形態に応じて、本マニュアルの該当ページをご参照ください。

## 1-4. ライセンスサーバのインストール（管理者権限が必要）

この項目はネットワークライセンスをご利用の場合のみ必要となります。  
ノードロック（スタンドアローン）ライセンス形態の場合は必要ありません。

GENESYS サーバとなるコンピュータをあらかじめ準備します。

ネットワーク（フローティング）ライセンス形態で GENESYS を利用するには、GENESYS ネットワークライセンスサーバを設定する必要があります。

ライセンスサーバは、購入したライセンスの本数分、クライアント PC で GENESYS を実行できるように管理を行います。クライアントは、実際に GENESYS を実行するコンピュータを指します。

---

### \* 参考 \*

- ネットワークライセンス形態では、ハードウェアキーやライセンスファイルは、サーバコンピュータにのみ設置します。
- サーバとクライアントは同一の LAN 上に存在している必要があります。
- GENESYS サーバ用のコンピュータは、常時稼動が可能なサーバ用途のコンピュータを選択することをお勧めします。ただし、同一 LAN 上にあればどのコンピュータでも GENESYS サーバとして利用可能です。
- GENESYS サーバとして稼動しているコンピュータは、クライアントとして GENESYS を実行することはできません。

---

### \* 注意 \*

- リモートデスクトップなどの外部端末を使用した場合、GENESYS サーバのインストールが正常に行えません。必ずサーバコンピュータ本体でインストールを行ってください。
  - GENESYS ライセンスサーバと ORCAD ライセンスサーバを同一の PC 上で動作させようとする、GENESYS ライセンスサーバが動作しません。
-

## 1-4-1. GENESYS ハードウェアキーのネットワークライセンス

GENESYS ハードウェアキーのネットワークライセンスをご利用の場合この手順が必要です

1. コンピュータに **GENESYS** サーバをインストールする前に、ハードウェアキーが接続されていることを確認します。

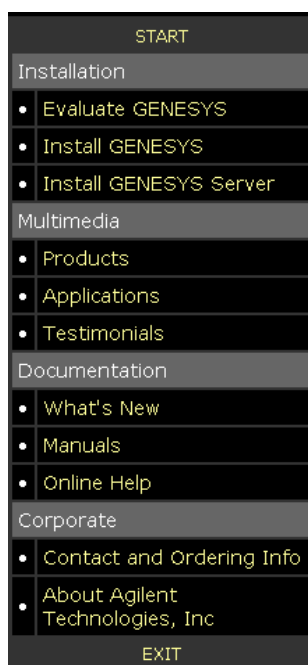
**GENESYS** サーバインストールでは以下の 2つのプログラムがインストールされます。

- ネットワークライセンスサーバ： **GENESYS** のネットワークライセンスを管理します。約 100KB のハードディスク空き容量を必要とします。
- **GENESYS** ネットワークインストールイメージ：サーバマシンを経由してクライアントマシンに **GENESYS** をインストールするためのインストールイメージをインストールします。264MB のハードディスク空き容量を必要とします。

(インストールイメージは、インストール CD からのみインストール可能です。ウェブからダウンロードしたライセンスサーバインストーラにはこのオプションは付いていません。)

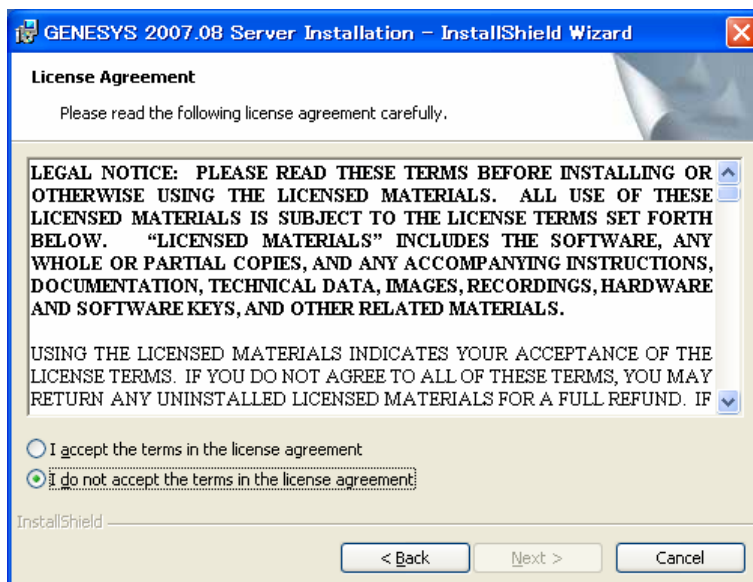
2. サーバコンピュータ の **CD-ROM** ドライブに、インストール CD を挿入します。

インストールプログラムは自動的に起動しますが、起動しない場合はルートフォルダから、**start.exe** を実行します。

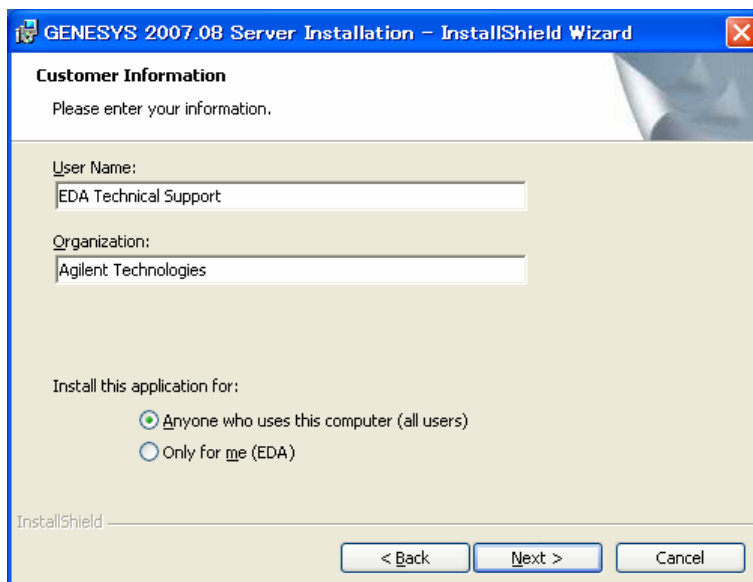


3. 表示されたメニューから、**Install GENESYS Server** をクリックします。  
もしくはウェブからダウンロードした、ライセンスサーバインストーラ **GENESYS200x\_xx\_License\_Server.exe** を実行します。

4. Install GENESYS Server Now ボタンをクリックし、インストールを開始します。
5. Next をクリックし、ライセンス規約に同意できる場合は **accept license agreement** をチェックし Next をクリックします。

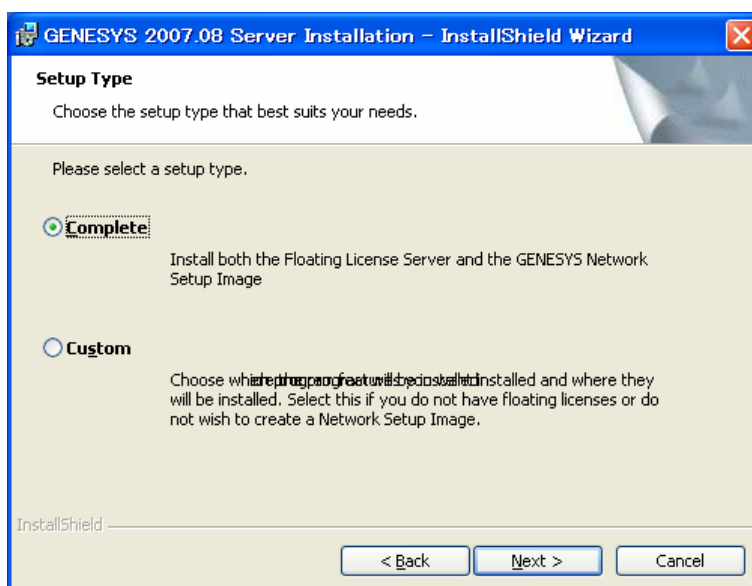


6. ユーザ名、組織名を入力し Next をクリックして下さい。

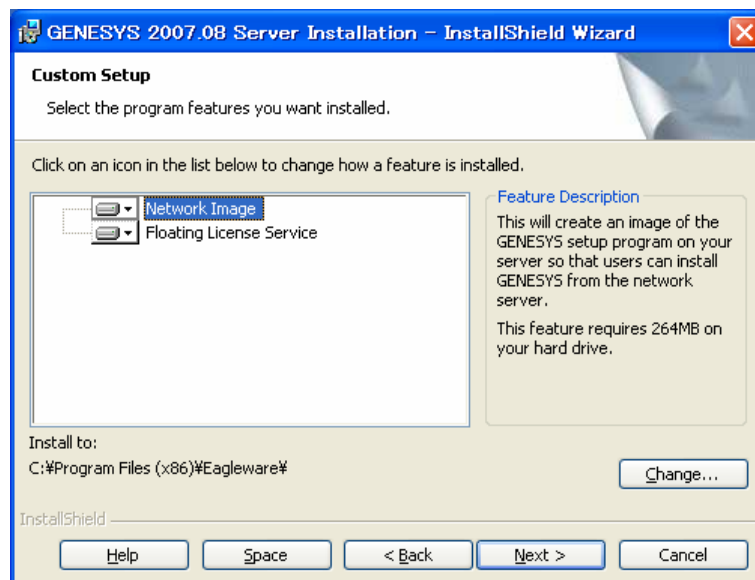


Anyone who uses this computer を選択すると全てのユーザが、Only for me を選択するとインストールを実行したユーザのみがライセンスサーバツールを実行できます。

7. セットアップタイプを選択し **Next** をクリックして下さい。



**Custom** を選択すると、**Network Image** をインストールせずにハードディスク容量を節約することや、インストール先ディレクトリを変更することができます。



8. **Install** ボタンをクリックしインストールを開始します。

**Requirements** ページを確認後 **Next** をクリックして下さい。次に進む前に、ハードウェアキーが接続されていることを確認して下さい。

9. ハードウェアキーが認識されると、インターネット接続が可能か選択するページが表示されます。

インターネット接続が利用可能であれば “This computer has internet access,~” を選択して下さい。GENESYS が自動的に Authorization コードをダウンロードします。インターネット接続が利用できない場合は、“This computer does not have internet access,~” を選択して、Authorization コードを手動で入力します。

※インターネット接続が利用できず、Authorization コードが不明な場合の認証方法については、下記 URL に別途手順書が用意されておりますのでこちらをご参照ください。

Agilent EEsof EDA コードワードインストール簡易手順：

[http://eesof.tm.agilent.com/support/codewords/ew\\_install\\_pc\\_jp.html](http://eesof.tm.agilent.com/support/codewords/ew_install_pc_jp.html)

10. 以上でサーバコンピュータのセットアップは完了です。次は、クライアントマシンの設定に移ります。

---

**\*参考\*** 購入したライセンスの本数だけ、同時に複数のユーザが GENESYS を利用することができます。例えば、ネットワークライセンスを 5 本購入した場合、5 人のユーザが同時に GENESYS を利用可能です。

---

クライアントコンピュータへのインストール；

- CD からインストールする場合は、“1-2. インストール CD からのインストール”をご参照ください。
- Network Image を利用してクライアントコンピュータにインストールする場合は、“1-3. インストール実行ファイルを利用”をご参照ください。
- インストール実行ファイルを利用する場合は、“1-3.インストール実行ファイルを利用”をご参照ください。

クライアントコンピュータへの GENESYS のインストールが完了すれば、クライアントコンピュータのライセンス認証 (Authorization) が必要です。

“2-3-2. ネットワークライセンスの場合”をご参照ください。

クライアントコンピュータのライセンス認証ではライセンスサーバコンピュータの名前が必要です。

## 1-4-2. ADS-Style ネットワークライセンス

ADS-Style のネットワークライセンスをご利用の場合この手順が必要です

**ADS-Style** ネットワークライセンスを利用するには、**lmgrd**、**agileesofd** という 2 つのライセンスデーモンが必要です。

これらのライセンスデーモン・ソフトウェアは、**Agilent EEsof** ナレッジセンタからダウンロードする必要があります。

下記 ナレッジセンタトップページの ダウンロードセクションから、

Licensing Software > Windows > FLEXnet software and EEsof EDA vendor daemon for 2006A に進み、**FLEXnet10.8\_Windows\_32bit\_64bit.zip** を事前にダウンロードして下さい。

Agilent EEsof ナレッジセンタ トップページ：

<http://www.agilent.com/find/eesof-kcj>

**ADS-Style** ネットワークライセンスの場合は、**GENESYS** ハードウェアキーのネットワークライセンスの場合と異なりハードウェアキーは必要ありません。

**ADS-Style** ネットワークライセンスでは、ライセンスファイル (**license.lic**) をあらかじめ入手しておく必要があります。

### インストール手順

1. まず、ライセンスソフトウェアをローカルフォルダに設置します。

ここでは、**C:¥Program Files¥Eagleware** フォルダにインストールする場合で説明します。

**C:¥Program Files¥Eagleware** フォルダを作成し、事前にダウンロードした **FLEXnet10.8\_Windows\_32bit\_64bit.zip** を解凍すると、**licenses** フォルダが作成され、その下にライセンスソフトウェアが展開されます。

**licenses¥bin** フォルダに、**agileesofd.exe**、**lmgrd.exe** 両ファイルがあることを確認して下さい。以降の作業は、この **licenses** フォルダで作業します。

2. ライセンスファイル (license.lic) を、licenses フォルダ直下にコピーします。

ライセンスファイルをメモ帳などのテキストエディタで開き、**SERVER** で始まる行を探します。**SERVER** で始まる行は「**SERVER** ホスト名 LAN-ID」の書式になっていますので、ホスト名 (コンピュータ名) の部分を確認します。もし、ホスト名が実際と異なる場合は、正しいホスト名に書き換えます。

---

**\* 注意 \*** ホスト名以外を書き換えると、ライセンスサーバが正しく動作しません。ホスト名の部分以外を書き換えないよう、ご注意ください。

---

( license.lic の例 )

```
SERVER unknown 0001031082EC
VENDOR agileesofd
INCREMENT ads_layout agileesofd 2.6 1-jan-2008 10 ¥
    VENDOR_STRING="0001031082EC : BLFQIDJ FGNIMW2 YNB2HNG FVU2LGF ¥
    RDAQRWX FSAQCOM 1N" START=1-JAN-2007 SIGN="022B CD22 A2D5 ¥
    35F0 1BC7 460D 437E 6047 F916 3487 F202 95E5 CAB7 10C0 AA55 ¥
    AE6C F86B BCFE 35A2 3EFD A2D6"
INCREMENT genesys agileesofd 2.6 1-jan-2008 10 ¥
VENDOR_STRING="0001031082EC_P=#202,203,204,205,206,207,208,209,210,211,212,213,21
4,215,216,217,218,219,221,222,223,225,226,227,229 ¥
: HM1NH1F UYHNESW CYFGAIM CY2NXAH FRDAQRW XFSAQCO" ¥
START=01-JAN-2007 SIGN="01A7 3129 25ED 8719 B9CF 8668 33A3 ¥
D4EF 779F 47D3 3203 5CF8 5F7B B1CE 1C01 2E8C FE4B 6D50 E164 ¥
3B75 B890"
```

例えば、上記例のライセンスのサーバホスト名 (コンピュータ名) が **server01** の場合は、**SERVER** 行を下記のように書き換えます。

```
SERVER server01 0001031082EC
VENDOR agileesofd
INCREMENT ads_layout agileesofd 2.6 1-jan-2008 10 ¥
    (以下省略)
```



3. Imgrd をサービスとして登録し、コンピュータの起動時に自動的に Imgrd デーモンが起動するように設定します。

I. コマンドプロンプトを起動します。(例えば Windows の [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行] を選び cmd と入力し、[OK] ボタンをクリックします)

II. コマンドプロンプトで、次のコマンドを実行します。

```
cd C:¥Program Files¥Eagleware¥licenses
```

III. 更に次のコマンドを入力し、サービスをインストールします。

<書式>

```
installs -n <サービス名> -e <Imgrd.exe のパス> -c <license.lic のパス> -l <ログのパス>
```

<例> (実際には一行で入力してください)

```
installs -n "FLEXnet License Manager for ADS-Style Eagleware"
```

```
-e "C:¥Program Files¥Eagleware¥licenses¥Imgrd.exe"
```

```
-c "C:¥Program Files¥Eagleware¥licenses¥license.lic"
```

```
-l "C:¥Program Files¥Eagleware¥licenses¥flex.log"
```

<サービス名> には、任意の名前をつけてください。

<Imgrd のパス>には、Imgrd.exe のフルパスを入力します。

<license.lic のパス>には、ライセンスファイル (license.lic) のフルパスを入力します。

<ログのパス>には、ログファイルのフルパスを入力します。

IV. 入力後 Enter キーを押し、コマンドを実行します。

---

**\*参考\*** Imgrd 起動時に、<ログのパス>を指定せずに “-l” オプションを着けて起動した場合には、System32 ディレクトリ (Windows2000 では C:¥winnt¥system32、WindowsXP では C:¥windows¥system32) にログファイルが作成されます。またその際の名前は Imgrd.xxxx (xxxx は Imgrd のプロセス ID) となります。

---

4. コマンド実行後、サービスを確認します。

Windows の [スタート] ボタンから [コントロールパネル] を起動します。

コントロールパネルから、[管理ツール] > [サービス] を開きます。

上記の手順でインストールした<サービス名>のサービスを探します。

インストールしたサービスの [状態] 欄は空白になっており、まだサービスが開始されていません。インストールしたサービスを選択し [開始] させます。

5. 以上で、ADS-Style ライセンスサーバの設定は終了です。

クライアントコンピュータのインストールに移って下さい。

クライアントコンピュータへのインストール；

- CD からインストールする場合は“1-2. インストール CD からのインストール”をご参照ください。
- Network Image を利用してクライアントコンピュータにインストールする場合は“1-3.インストール実行ファイルを利用”をご参照ください。
- インストール実行ファイルを利用する場合は“1-3.インストール実行ファイルを利用”をご参照ください。

クライアントコンピュータへの GENESYS のインストールが完了すれば、クライアントコンピュータのライセンス認証 (Authorization) が必要です。

“2-4. ADS-Style ライセンス認証”をご参照ください。

クライアントコンピュータのライセンス認証ではライセンスサーバコンピュータの名前が必要です。

## 2. ライセンス認証 (Authorization)

### 2-1. ライセンス認証の概要

GENESYS は、ライセンス形態に応じて認証方法が異なります。

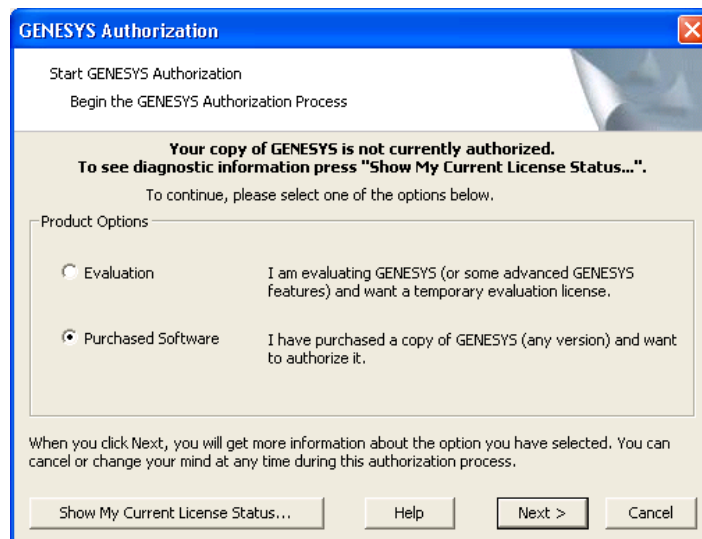
下記のようなライセンスの形態があります。

- ▶ 評価用ライセンス
- ▶ GENESYS ハードウェアキーライセンス
  - ▶ ノードロックライセンス
  - ▶ ネットワーク (フローティング) ライセンス
- ▶ ADS-style ライセンス
  - ▶ ノードロックライセンス
  - ▶ ネットワーク (フローティング) ライセンス

GENESYS ハードウェアキーライセンスは、紫色の **USB** ハードウェアキーまたは、青色のパラレルポート・ハードウェアキーを使用するライセンス形態になります。これらのハードウェアキーをご利用の場合は、**GENESYS** ハードウェアキーライセンスの項目をご参照ください。

**ADS-Style** ライセンスは、**LAN-ID (Mac アドレス)** に対して発行されます。**LAN-ID** に対して発行されたライセンスをご利用の場合は、**ADS-Style** ライセンスの項目をご参照ください。

GENESYS のライセンス認証が完了していない場合、GENESYS を起動すると下図のような認証画面が表示されます。



- Evaluation : 評価用ライセンス認証を行います → **2-2**
- Purchased Software : 以下 3 つの形態のライセンス認証を行います
  - GENESYS Hardware Key : ノードロックライセンス → **2-3-1**
  - GENESYS Network License Server : GENESYS ハードウェアキーのネットワークライセンス (クライアントコンピュータ) → **2-3-2**
- Agilent ADS-style Licensing : ADS-Style ライセンス → **2-4**

## 2-2. 評価用ライセンス

ライセンス認証を開始する前に、ハードウェアキーが接続されていないことを確認して下さい。ハードウェアキーが接続されているとライセンス認証が完了しません。

ハードウェアキーを利用したライセンス認証が他の全てのライセンス認証より優先されます。

GENESYS の評価用ライセンス認証を行うには **Token** を事前に取得する必要があります。

**Token** はお客様ご自身でリクエストすることができます。お客様からのリクエストがあると、弊社より **Token** が発行されます。

**Token** を取得するには、下記のウェブページから **Evaluation Codeword Request Form** のリンクをクリックし、リクエストフォームに必要事項を入力して下さい。電子メールで **Token** が発行されます。

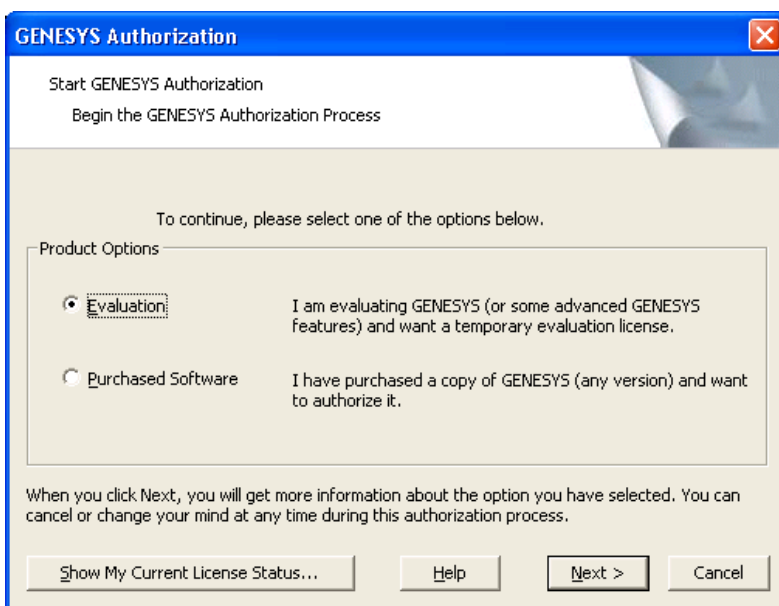
Eagleware ウェブページ Products ページ :  
<http://www.eagleware.com/products/genesys/genesys.html>

ライセンス認証を行うには以下のものがが必要です

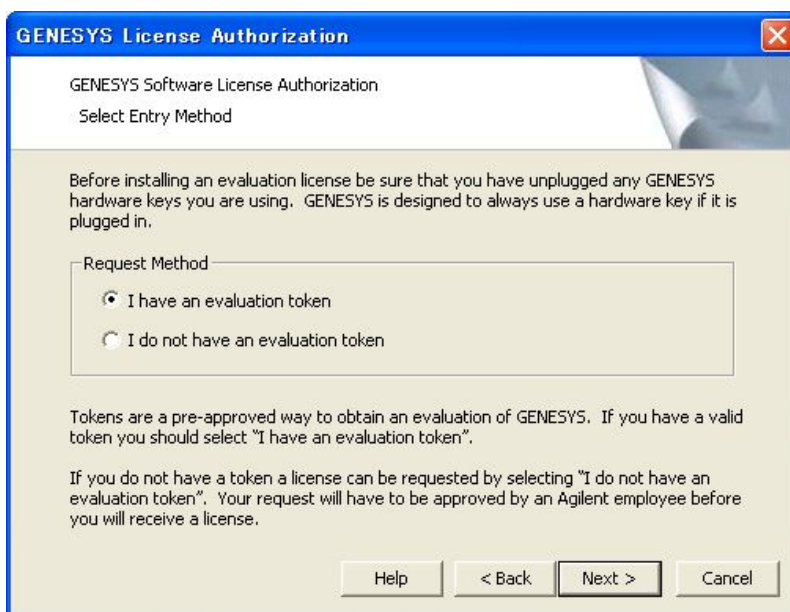
- **Token**
- インターネット接続 (**Authorization** を実行するコンピュータ上)
- 有効な電子メールアドレス

## 評価用ライセンスの設定

1. デスクトップ上のショートカットアイコンもしくは **Windows** のスタートメニューの“全てのプログラム” から **GENESYS** を起動します。ライセンス認証が完了していないので認証画面が表示されます。
2. **Evaluation** を選択し **Next** をクリックします。



3. **Token** を取得済みの場合、**I have an evaluation token** を選択します。**Token** を取得していない場合は、**I do not have an evaluation token** を選択し **Token** をリクエストします。



4. 次の画面の、Token を使って評価用ライセンスを取得する手順を確認後 Next をクリックします。Agilent Technologies のプライバシーポリシーへもリンクされています。
5. ライセンス認証を完了するために次の 2 つの画面で必要事項を入力します。

GENESYS License Authorization

GENESYS Software License Authorization  
Enter Your Information - Page 1 of 2

(\*) Required Field

Token: (\*)  Tokens are case sensitive.

First Name: (\*)

Last Name: (\*)

Email Address: (\*)

Company: (\*)

MAC Address: (\*)

Help < Back Next > Cancel

GENESYS License Authorization

GENESYS Software License Authorization  
Enter Your Information - Page 2 of 2

(\*) Required Field

Address: (\*)

Address Line 2:

City: (\*)

State: (\*)

Zip Code: (\*)

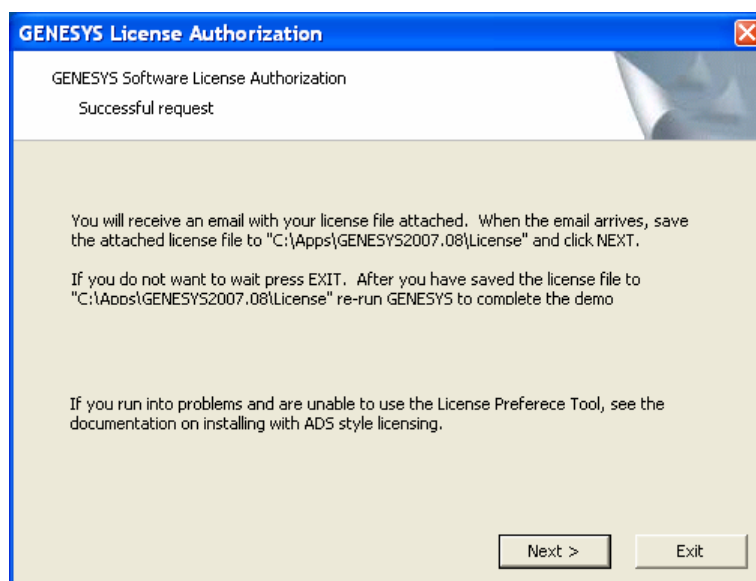
Country: (\*)

Before clicking Send ensure the information you have entered is accurate.

Help < Back Send > Cancel

MAC address は自動的に入力されます。複数の NIC (Network Interface Card) がインストールされている場合は、選択されている MAC address がインターネット接続に利用する NIC のものであるか確認してください。

6. 次に、Successful request 画面が表示されます。



この画面が表示されれば弊社に評価用ライセンスファイル発行のリクエストが届き、手順 5. で入力した電子メールアドレス宛に、評価用ライセンスファイルが添付された英文の電子メールが送信されます。

電子メールは、通常、数分で届きます。

次の操作として、以下の 2 つの選択肢があります。

- A. 認証画面を閉じずにライセンスファイルが届くのを待ち、ライセンスファイル受領後、継続して認証作業を行います。
- B. Exit ボタンをクリックし、いったん認証作業を中断します。ライセンスファイル受領後に再度認証作業を実行します。

A. の場合は、上記画面を表示させたまま次の手順 7. に進んでください。

B. の場合は、GENESYS の再起動後に **ADS-Style** ライセンスの場合と同様の手順が必要となります。2-4. ADS-Style ライセンス認証 と同様の手順を実行して下さい。

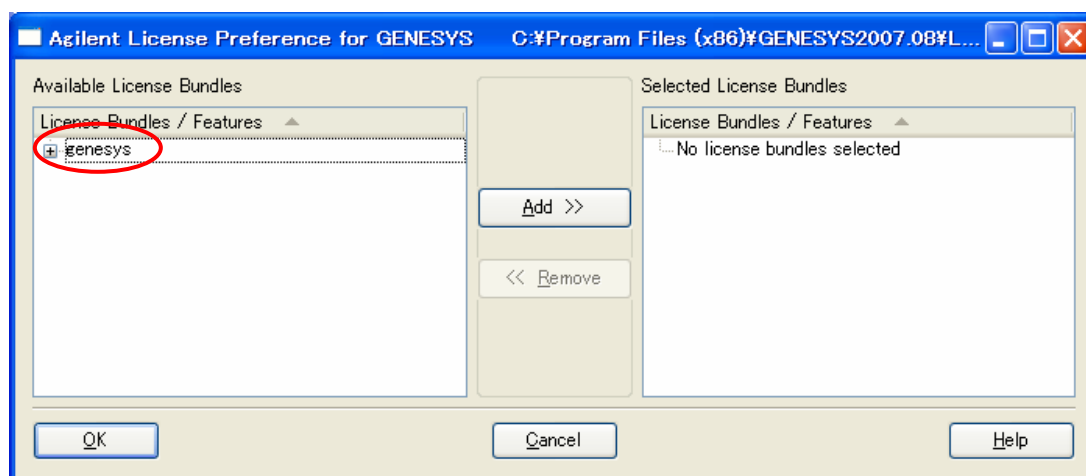
7. 電子メールを受信後、評価用ライセンスファイルを下記フォルダに保存します。

**C:\Program Files\GENESYS2007.08\License**

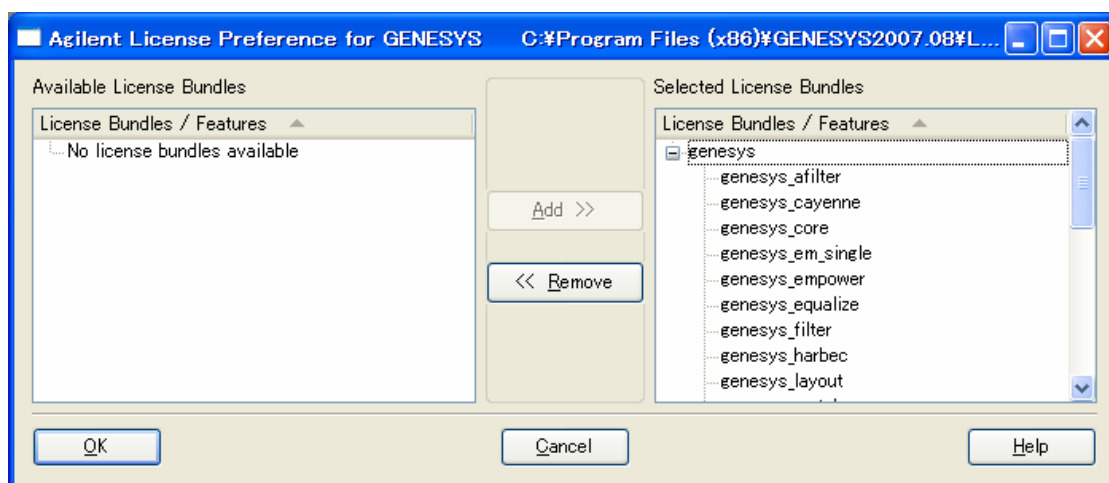
評価用ライセンスファイルを上記フォルダに保存後、認証画面に戻り **Next** をクリックします。



8. 下図のような Agilent License Preference for GENESYS 画面が表示されます。



Available License Bundle 欄から genesys バンドルを選択し Add ボタンをクリックします。Selected License Bundle 欄に genesys バンドルが移動します。



OK をクリックして終了すると GENESYS が起動します。

---

**\*参考\*** GENESYS 2006.07 以降のバージョンであれば、評価用ライセンスをそれぞれのバージョンの適切なディレクトリに配置することで利用することが出来ます。

---

## 2-3. GENESYS ハードウェアキーライセンス

### 2-3-1. ノードロックライセンスの場合

GENESYS ハードウェアキーのノードロックライセンスをご利用の場合この手順が必要です

GENESYS ハードウェアキー（ dongle ）を用意して下さい。

ハードウェアキーのドライバをインストールする際は GENESYS を管理者権限で実行する必要があります。

---

**\* 注意 \*** Windows リモートデスクトップなどの外部端末を使用した場合、ドライバのインストールが正常に行えません。必ずドライバをインストールするコンピュータ本体でインストールを行って下さい。

ハードウェアキーは指示があるまで接続しないで下さい。

---

管理者権限で実行するには以下のいずれかの方法を用いて下さい。

- 管理者（Administrator）としてログイン
- Windows Vista の場合、GENESYS のインストールディレクトリの下（C:¥Program Files¥GENESYS2007.08¥bin）にある、GENESYS.exe を右クリックし、Run As Administrator をクリック

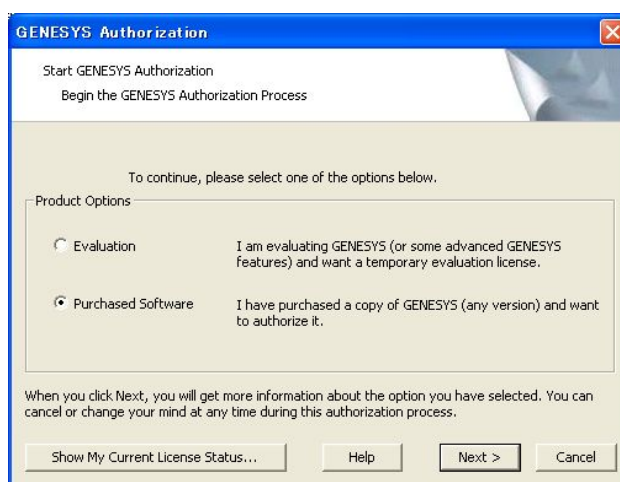
## 認証手順

1. GENESYS を管理者権限で実行します。

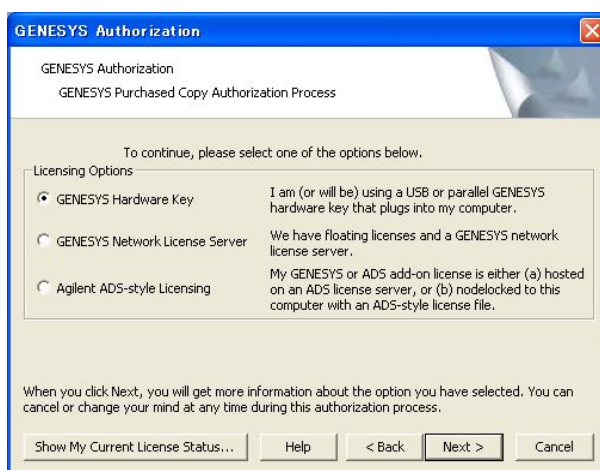
まず、ハードウェアキードライバをインストールします。

(Authorization ダイアログが表示されずに GENESYS が起動した場合は、GENESYS の Help メニューから Update Authorization Info... を選択します。)

2. 認証画面が表示されれば、Product Options として Purchased Software を選択し Next をクリックします。

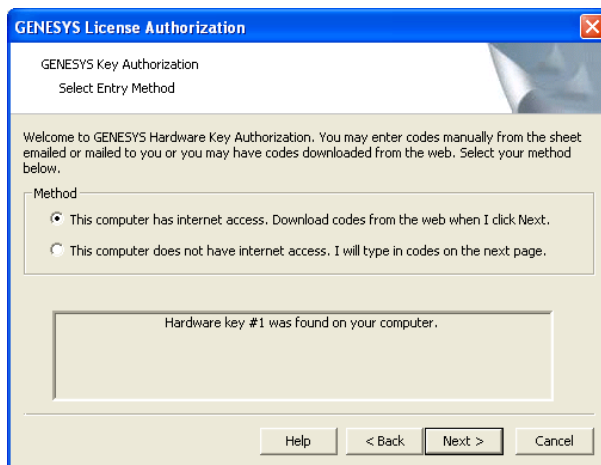


3. Licensing Option として GENESYS Hardware Key を選択し Next をクリックします。



4. ドライバのインストールが始まります。the process must be run again と表示されれば OK をクリックします。
5. Do you want to try again? と表示されれば、ハードウェアキーを接続し YES をクリックします。

6. 認証画面のトップに戻りますので、**Product Options** と **Licensing Options** を同様に選択し **Next** をクリックします。



インターネット接続が利用可能であれば、**This computer has internet access,~** を選択して **Next** をクリックします。**Authorization** コードが自動的にダウンロードされます。

インターネット接続が利用できない場合は、**This computer does not have internet access,~** を選択し **Next** をクリックします。この場合は **Authorization** コードを手動で入力する必要があります。

7. This computer has internet access を選択し、Next をクリックすると Enter Web Name and Password ダイアログが表示されますが、通常は空白のまま Next をクリックして下さい。インターネットの接続に、プロキシサーバを設定されている場合などにもみ入力が必要となります。



どちらかの方法で Authorization コードが入力されれば Finish をクリックしライセンス認証を完了します。



8. GENESYS が起動することを確認します。

※インターネット接続が利用できず、Authorization コードが不明な場合の認証方法については、下記 URL に別途手順書が用意されておりますのでこちらをご参照ください。

Agilent EEsof EDA コードワードインストール簡易手順 :

[http://eesof.tm.agilent.com/support/codewords/ew\\_install\\_pc\\_jp.html](http://eesof.tm.agilent.com/support/codewords/ew_install_pc_jp.html)

## 2-3-2. ネットワークライセンスの場合

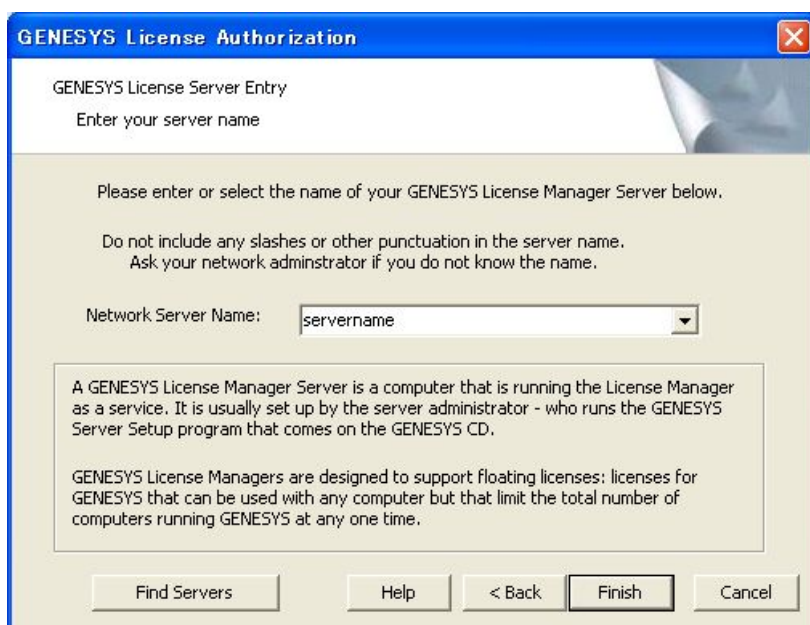
**GENESYS** ハードウェアキーのネットワークライセンスをご利用の場合に、クライアントコンピュータでこの手順が必要です

まず初めに、ハードウェアキーが接続されていないことを確認して下さい。ハードウェアキーが接続された状態ではライセンス認証が完了しません。

クライアントコンピュータのライセンス認証には、ライセンスサーバコンピュータの名前が必要です。

### 認証手順

1. デスクトップ上のショートカットアイコンからもしくは **Windows** のスタートメニューの“すべてのプログラム” から **GENESYS** を起動します。
2. 認証画面が表示されるので **Purchased Software** を選択し **Next** をクリックします。
3. **Licensing Options** として **GENESYS Network License Server** を選択し **Next** をクリックします。
4. **Network Server Name:** 欄に、ネットワークライセンスサーバとしてセットアップしたコンピュータの名前を入力し **Finish** ボタンをクリックします。



GENESYS License Authorization

GENESYS License Server Entry  
Enter your server name

Please enter or select the name of your GENESYS License Manager Server below.  
Do not include any slashes or other punctuation in the server name.  
Ask your network administrator if you do not know the name.

Network Server Name:

A GENESYS License Manager Server is a computer that is running the License Manager as a service. It is usually set up by the server administrator - who runs the GENESYS Server Setup program that comes on the GENESYS CD.

GENESYS License Managers are designed to support floating licenses: licenses for GENESYS that can be used with any computer but that limit the total number of computers running GENESYS at any one time.

Find Servers Help < Back Finish Cancel

5. **GENESYS** の起動を確認します。

## 2-4. ADS-style ライセンス認証

ADS-Style のノードロックライセンスをご利用の場合、および、ADS-Style のネットワークライセンスをご利用の場合のクライアントコンピュータでこの手順が必要です

**\* 注意 \*** GENESYS ハードウェアキーが接続されていないことを確認して下さい。ハードウェアキーが接続されていると ADS-style ライセンス認証が完了しません。

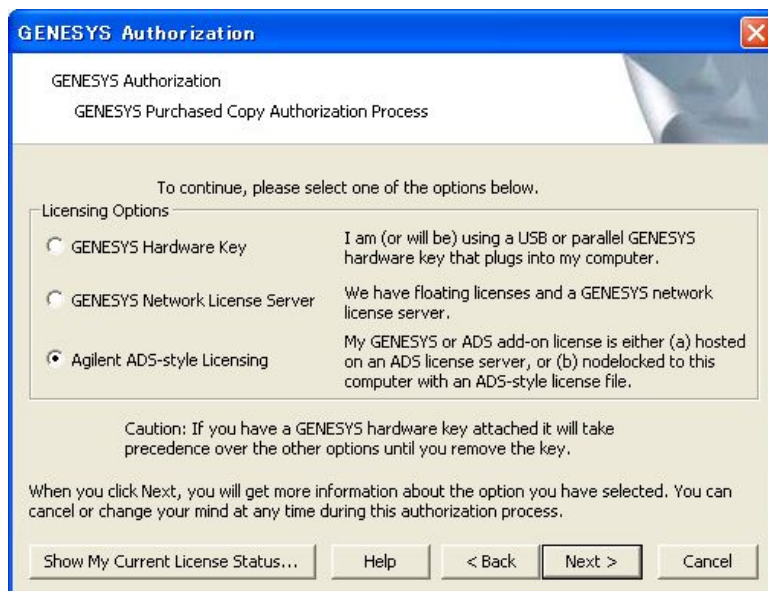
事前に ADS-style ライセンスファイルが保存されているローカルディレクトリのパス、もしくは、ADS-style ライセンスサーバの名前を確認して下さい。

### 認証手順

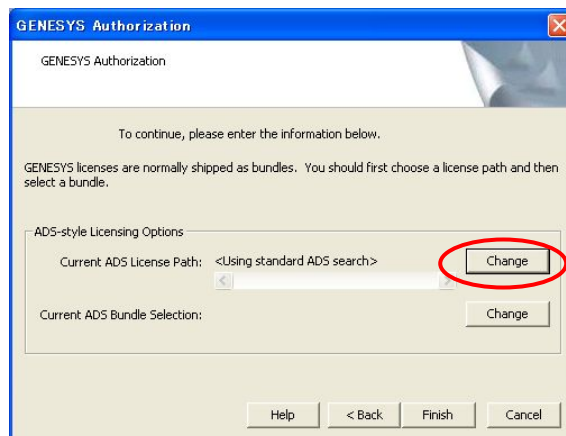
1. ノードロックライセンスの場合は、ライセンスファイル (license.lic) を下記のフォルダに保存します。

C:\Program Files\GENESYS2007.08\License

2. デスクトップ上のショートカットアイコンからもしくは Windows のスタートメニューの“すべてのプログラム”から GENESYS を起動します。
3. 認証画面が表示されれば、Product Options として Purchased Software を選択し Next をクリックします。
4. Licensing Options として Agilent ADS-style Licensing を選択し Next をクリックします。



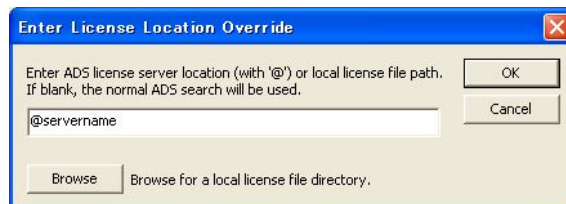
5. ADS-style Licensing Options の Current ADS Licensing Path の Change ボタンをクリックして、ライセンスファイルのパスを設定します。



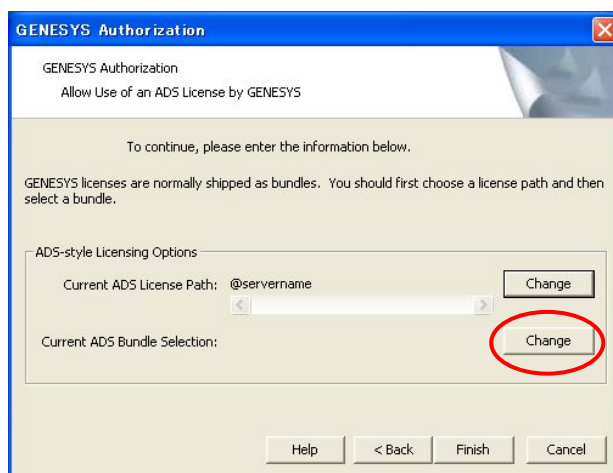
6. ノードロックライセンスの場合は、Browse ボタンでローカルディスクに保存したライセンスファイルのパスを選びます。

(例： C:¥Program Files¥GENESYS2007.08¥License¥license.lic)

ネットワークライセンスの場合は、ライセンスサーバの名前（先頭に@をつけます）を入力します。（例： @servername）

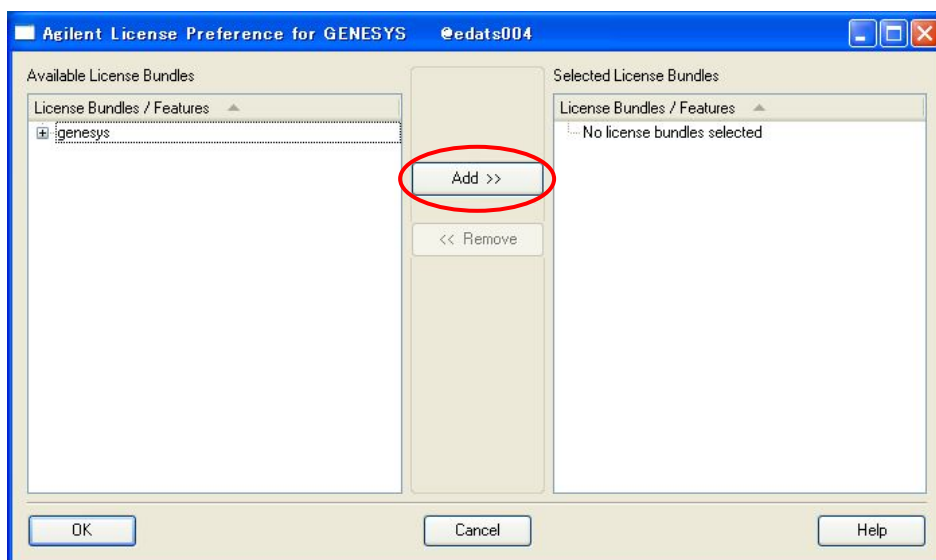


7. ADS-style Licensing Options の Current ADS Bundle Selection の Change ボタンをクリックし使用するバンドルを選択します。

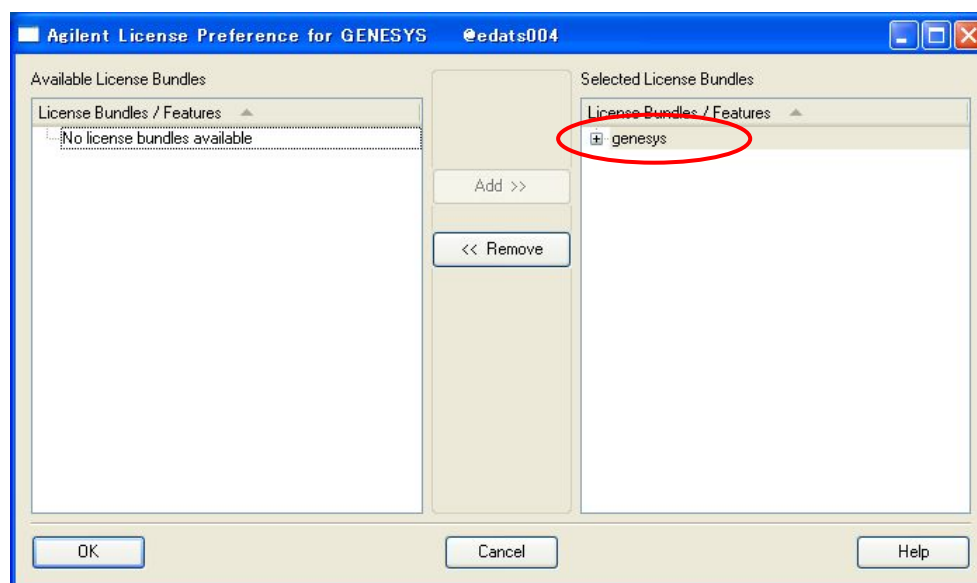




8. 左側の Available License Bundles 欄から **genesys** バンドルを選択し **Add** ボタンをクリックします。



Selected License Bundles 欄に **genesys** バンドルが移動すれば **OK** をクリックします。



9. **Finish** をクリックしてライセンス認証を完了します。
10. **GENESYS** が起動することを確認します。